

1978 年発売の高真空ステンレス製魔法びん

『アクト・ステンレスポット』が 2026 年度「重要科学技術史資料」に登録

9 月 29 日（火）より国立科学博物館「未来技術遺産・パネル展」にて特別展示

魔法びんのグローバル企業として、人と社会に快適で環境にもやさしいライフスタイルを提案するサーモス株式会社（本社：東京都港区 社長：片岡 有）は、1978 年に日本酸素株式会社（現：日本酸素ホールディングス株式会社）が発売した『アクト・ステンレスポット』が、独立行政法人国立科学博物館が選定する 2026 年度「重要科学技術史資料（愛称：未来技術遺産）」に、業界初の高真空ステンレス製魔法びんとして登録されることをお知らせします。登録に伴い、2026 年 9 月 29 日（火）に国立科学博物館にて登録証授与式が行われるほか、同日より「重要科学技術史資料登録記念パネル展」が開催され、会場内にて『アクト・ステンレスポット』の実物が特別展示されます。

※サーモス株式会社は、2001 年に日本酸素株式会社サーモス事業部と株式会社日酸サーモを統合して設立されました。



■高真空ステンレス製魔法びん『アクト・ステンレスポット』とは

高真空ステンレス製魔法びん『アクト・ステンレスポット』は 1978 年に発売されました。従来のガラス製魔法びんが抱えていた「割れやすい」という最大の弱点を克服した「割れない魔法びん」は、当時の日本の高い技術力によって誕生した画期的な製品です。

<製品特長>

・高い保温・保冷力と日常での使いやすさの両立

高真空のステンレス二重構造による優れた保温・保冷力を実現しながらも、丈夫なステンレス製の本製品は、ガラス製に比べ軽くてコンパクトである点も大きな特長です。また、保温性を高めるうえで狭口が有利とされる中、注ぎやすくお手入れが簡単な「広口設計」を採用しています。魔法びんとしての高い断熱性能と、日常における使いやすさを追求し、携帯用魔法びんの市場において高い評価を得ました。

・ボトルの常識を覆す先進的なデザイン

金属であるステンレスの質感を全面に押し出したスタイリッシュな外観は、当時の魔法びんの常識を覆す、非常に大きなインパクトを市場に与えました。



■『アクト・ステンレスポット』選定・登録理由

『アクト・ステンレスポット』は、ガラス製魔法びんの弱点を克服した「割れない画期的な魔法びん」として、1978 年の発売以降、市場に大きな変革をもたらしました。本製品の登場をきっかけに、それまでガラス製魔法びんを生産していた企業が各社独自の製法で市場に参入し、ステンレス製魔法びん市場が一気に拡大。現在、誰もがマイボトルを所有し、生活必需品として浸透する先駆けとなりました。このように、日本の水筒業界の発展に大きく寄与した点が評価され、このたびの登録にいたりました。

■「重要科学技術史資料（愛称：未来技術遺産）」について

「重要科学技術史資料（愛称：未来技術遺産）」とは、独立行政法人国立科学博物館が 2008 年度から実施している登録制度です。我が国の科学技術の発達史において、以下のような顕著な役割を果たした資料の保存と次世代への継承を図ることを目的としています。

【選定・登録基準】

1. 科学技術の発達上重要な成果を示すとともに、次世代に継承していくうえで重要な意義を持つもの
 2. 国民生活、経済、社会、文化のあり方に顕著な影響を与えたもの
- 上記いずれかの基準に該当する優れた産業技術資料が、毎年選定されて「重要科学技術史資料登録台帳」に登録されています。

■「重要科学技術史資料」登録記念パネル展

2026 年 9 月 29 日（火）より国立科学博物館にて登録記念パネル展が行われ、期間中は『アクト・ステンレスポット』の実物も展示されます。

開催期間 : 2026 年 9 月 29 日（火）～10 月 18 日（日）

場所 : 国立科学博物館 日本館 1 階 中央ホール
(〒110-8718 東京都台東区上野公園 7-20)

入館料 : 通常入館料（一般・大学生 630 円。高校生以下および 65 歳以上は無料）
最新の情報は国立科学博物館の公式 Web サイト (<https://www.kahaku.go.jp>) にてご確認ください。